

ついで協議あるは、道管は町の平集内にてこれを難民にまてめる
ことは困難あるこの事につき、道管はやうないことに決定したため
遺憾ながら町議会に於ては道管はあまなうことになりましな
議入札につては何等かを考案するか、とあやうな性となつたので、
既りきり

伊予田三郎

いりく、皆之に市議協議の困難な中、然りしを今後より一く市議
にいれしめす。

一町代表連場、四時三十分

取

日三十一日

取二組合、市議者

氏

氏

氏

氏

氏

伊藤田三郎

村野茂三

天野辰昭

斎藤武雄

野島瑞次郎

板橋三郎

芝蔴、芍薬五匁より 五匁まで

川越リ今月の二日次に卒業したるが
哲田進の問題がはつきりになりつゝのび

協同組合と云ふ金額

町取リ当初五口万田位と爲り

加藤リ田民少島寶して貴やといふやうな事をもしておかたへに困る

[illegible]

川越より直接行くのは多分遠いからとある。ある。

其の如き場合は、難免である。それゆゑ、

現地を見せ、設計者と共に一度協議が必要。

田村橋より技術者より人がある。その間に、臨時に雇つて使つてもらうと思ふ。

有難う。後、学校関係の技術者は他の事に関係なく、学校に付く。

はつた。その方がよつと考へる。

お母さん、何の用事を見せ、決めることにする。

五時半に終了。

昭和 26 年 5 月 10 日 決裁 昭和 26 年 5 月 10 日 発行 浄 寫 校 合

昭和 26 年 5 月 10 日 決裁 昭和 26 年 5 月 10 日 発行 浄 寫 校 合

町長 助役 総務課 課長 係主任 係員

福 第 号 係主任 係員

年 月 日 町 長 氏

議員各氏

町議会協議会開催につき

左記に依り、町議会協議会を開催致します。出席、下記各氏に通知致す。

記

一日時 昭和二十六年五月十日午前九時

二時 於福生町役場第一会議室

1. 第三高等学校建設の件
 2. 龍川牛浜山王橋間道路新設の件
 3. 加美排水路
2. 其の他

昭和二十六年五月十日

福生町長加藤市藏

殿

町議会協議会南催について

左記により町議会協議会を南催致しますから速に出席下さることを
通知致します。

記

一日 時 昭和三年五月十日午前十時

場所 於福生町役場第一會議室

三、協議事項

2. 人茅三小學校建設の件

昭和三十一年、度歳入歳出予算書参考のため送付します。

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	福生町 議會議員 名簿 (昭和26年 5月11日 定臨 協 会)
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
船木甚平	村尾種吉	野島毎	貫井伊作	中野七郎	高橋三郎	瀬古清藏	設樂美知	田村福一	井上頼太郎	森田喜一	石川武雄	田村政一	
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
高橋彦市	田村利一	西村節	村尾四郎	村野盛一	村野喜平	鮎沢美代子	森田誠重	田村幾太郎	井梅泰輔	橋本雄一	森田幸藏	並木竹松	

福生町議會議員名簿
 (昭和26年5月11日定臨協
 会)
 田村政一
 石川武雄
 森田喜一
 井上頼太郎
 田村福一
 設樂美知
 瀬古清藏
 高橋三郎
 中野七郎
 貫井伊作
 野島毎
 村尾種吉
 船木甚平
 並木竹松
 森田幸藏
 橋本雄一
 井梅泰輔
 田村幾太郎
 森田誠重
 鮎沢美代子
 村野喜平
 村野盛一
 村尾四郎
 西村節
 田村利一
 高橋彦市

昭和三年五月二十日九時

町議会協議会

於一會議室

出席 田村政一 石川武雄 栗田亮一 井上頼太郎 田村福一 設樂美知 瀬谷清彦

出席 中野五郎 實井伊作 野良 母 村尾種吉 船木甚平 並木竹松

出席 森田幸吉 橋本雄一 井橋泰輔 田村幾太郎 森田謙吉 鮎沢美代子 村野長平

出席 村野盛一 村尾四郎 西村 節 田村利一 高橋孝平

（欠）長あき 務引継

（欠）長 務引継 議員は全途 参選後 決する こと 二の 助役 に 求めた

（助役（奇数））公益貨屋 設置の件

福生 田無 日野 ミヅノ と 協同して 運搬 方と 般に 運動 せし 目的 議会上 提議 した

と 鬼の 子 所 三豆 子 である けれど 運搬 金 金 あり といふ あり あり 倉庫 は 田村 富一 郎 氏 氏

有る 日を 借用 する 今 般に 協力 運動 せし なければ ならぬ といふ 目的 議会上 提議 した

三 龍川 東 秋 前 町 多 子 川 架 橋 作

三 米 主 都 で 補助 金 の 代り に 工 事 と 施行 せし 残り と 東 秋 前 町 二 村 を 負担 する

負担額は十九万四千四百五十円に上り、これは町で負担する。

三、能川牛込山王橋南道路建設工事

一、右の件は昨秋八九月頃立案し、測量、同達、曲線、一直線にするは現在加國氏の
家屋を移転せしめられ、その土地は、移転料が多額に上り、それとあけて真直に
し、三三三箇中、三箇の収穫は着工する。

四、失業救済事業の経過

一、右の件は、西暦、春上り、業、始まりである。二、五年、五月から、農道、より、かえり、

西暦、度、延、三、三、九、八、七、三、五、十、四、

三、五、度、延、三、四、五、十、四、五、五、四、米

本年、度、早、延、は、八、八、一、八、三、三、七、八、一、一、年、均、ス、八、四、九、七、一、千、五、百、である。

昨年、未、労働、政、勢、の、時、は、終、止、の、形、を、あ、る、が、り、と、し、も、多、く、利、益、を、も、も、る、が、存、続、し、

五、加美排水工

一、長沢神社と、本、橋、南、排水、溝、工、は、都、の、補、助、金、一、六、万、円、で、予、算、四、万、円、で、施、工、し、
六、指、名、入、札、者、八、名、を、開、示、上、本、と、随、契、し、

六、銀座通り、青梅街道の件

一、都、の、補、助、道、と、し、予、算、書、に、掲、見、し、が、莫、大、な、金、額、が、あ、る、下、水、溝、と、し、

思、い、が、れ、は、その、ほ、研、究、を、要、す、

二、居、地、の、流、出、す、る、汚、水、の、こ、と、に、つ、き、は、議、員、長、興、本、賞、と、協、議、し、頂、き、

七、永田橋の件その他

一、福、生、多、西、の、街、の、村、で、陳、情、し、半、分、出、来、る、思、い、他、は、追、加、更、正、予、算、に、あ、る、

二、牛、込、の、下、水、溝、は、災、害、復、旧、工、事、で、あ、る、

三、都、道、十、三、号、線、は、補、助、長、工、事、と、し、牛、込、ベ、ー、ス、向、は、氷、軍、基、地、の、下、水、溝、と、路、下、に、計、画、

水、を、い、る、一、町、保、の、ま、を、い、る、

八、消防自動車排下けの件

一、オ、ニ、分、団、の、旧、消防、自動車、排、下、け、で、あ、る、が、これ、は、本、当、に、削、鉄、に、等、し、一、八、休、三、万、一、四、分、位、

二、教、務、員、と、協、議、す、る、こ、と、に、決、ま、

九、第三小学校建設工事

一、第、三、小、学、校、の、二、部、教、授、を、解、消、す、る、目、的、に、あ、る、建、設、所、に、は、区、劃、整、理、内、に、希、望、し、る、が、農、地、等、田、

文庫は第三山學校建築するものなりは極力削減

一、地方事務所の改築は洋の如く、当市はゆうゆうするに努力し、思ふがう予め昭
承知下す。

二、未復員者の帰還促進、通達の役員と改選し、預かる。

三、市議員は一任すること決定。

会中、田村武平、市員 井上頼平、渡辺清ら。

一、都道編入に於て陳情あり。

この議会で決定し、さうが、西平井町、都道編入を申請し、さうが、物さう、
は駄目なところから、平井の拝島駅に、さうが、道路と、陳情することから、福生、
町で、これに便乗し、さうが、福生の中心、役場のところから、銀座通り、王様、
市林田村を、さうが、福生、拝島駅の、さうが、道路と、都道に編
入する、陳情することから、昭承知下す。

午後二時三十分閉会。

二、五、一七 午前九時

協議会

助役に、

出席者 町長、大野、橋本課長、豊井書記

町長

早急の市考案を頂き、相難う申す。

本日市集りを照りましたのは、市通知にありました通り

助役の、問題について、市集りを照つた次第です

実は、市助役より、去月二十一日頃、思ひましたが、その時に

辞表を、さうが、申入、北が、引、継、さうが、

居ない、内、い、あり、時期、ある、事、さうが、から、さうが、

待つ、さうが、やう、さうが、さうが、今日、十一日の

協議会に、さうが、市助役に、今、迄の、理事者、として、所の

事業の、全、通、計画、等、その、概要を、議員、各位に

實井